



人材育成調査表のデータ活用のすすめ

人材育成調査表の調査区分ごとに活用例をあげています。これら以外にも、皆さんの新たな発想でデータをご活用ください。

1 人材育成基本方針について

今後、人材育成基本方針を改定する場合、「作成年度」、「改定予定」、「改定済」のデータを参考に、他市町村に情報を収集してみたいかがでしょうか。改定に当たっての考え方、作業手順、方法などを尋ねることで、改定の足掛かりになります。

2 職員研修について

(1) 組織内研修

組織内研修では、研修科目が列記されています。例えば、新規採用職員研修の見直しを考えているとき、他市町村ではどのような科目を行っているのかなど、参考にできます。

(2) 自己啓発に関する支援

コロナ禍をきっかけに自己啓発の機会も増えています。通信教育やeラーニングなどの支援をしている他市町村にどのように活用されているか話を聞いてみたいかがでしょうか。

(3) 組織外研修

■広域研修機関への派遣研修

令和4年度に改定した「人材育成にかかる研修助成金」では、企業など民間の研修団体への参加費も助成対象です（派遣研修分は10万円以内）。当研修所や市町村アカデミー、国際文化アカデミーに限らず、民間の研修団体に派遣している市町村の状況を知ることができます。

■他団体との人事交流

各市町村の派遣先を見ると、公共団体に限らず、様々な団体と人事交流している状況がわかります。他団体に派遣することで職員本人の視野が広がり、派遣終了後には、外で得た知見を組織に還元できます。また、派遣を受け入れることは、組織内の職員にとって良い刺激になります。（機会があれば、当研修所へも派遣してください。）

3 研修予算について

各市町村の「組織内研修」と「組織外研修」の当初予算を確認できます。他市町村の予算と比較しながら、現状分析に役立ててください。

また、予算編成時に近隣や類似の市町村と予算額を比較することで予算説明に活用できます。

4 研修派遣における取り組みについて

各市町村の研修派遣における研修前後の取り組みについて確認できます。研修の効果をより高めるために、どのような取り組みをしているのか他市町村と比較しながら、現状分析に役立ててください。